

剣道 初段・二段審査 学科問題

<問題> 剣道における「三とおりの礼」について説明しなさい。

- ① 神前や上座・上席に対する、立った姿勢から上体を約30度かたむけて行う立礼。
- ② 試合や稽古の際の、立った姿勢から上体を約15度かたむけて相手に注目して行う立礼。
- ③ 正座の姿勢から上体を前にかたむけながら同時に両手を「八の字」の形にして床につけ、その中心に鼻先を向け、静かに頭を下げる座礼。

<問題> 剣道におけるかけ声（気合いの発声）の効用について述べなさい。

- ① 自分の気力を充実させる。
- ② 相手を威圧（いあつ）する。
- ③ 自分の力を集中して、より以上の勢いと力を発揮させる。
- ④ 気剣体の一致をはかり、打突を充実させる。

<問題> 剣道における残心について説明しなさい。

残心とは、打突した後でも油断することなく、相手の反撃に対応できる身構えと気構えである。残心のない打突は、有効打突にならない。

<問題> 「切り返しの効果」を5項目以上書きなさい。

- ① 技がはげしく、かつ早くなる。
- ② 打ちが強くなる。
- ③ 呼吸が正しく、息と息の間が長くなる。
- ④ 腕の動きが自由になる。
- ⑤ 体が軽快に自由に動くようになる。
- ⑥ 長い竹刀を自由に使えるようになる。
- ⑦ 下半身がしっかりして身体全体がくずれないようになる。
- ⑧ 相手の動きがよく見えるようになる。
- ⑨ 打ち間がよくわかるようになる。
- ⑩ 手の内が軽くなり、さえた打ちができるようになる。

<問題> 「三つの間合い」を書き、それぞれを簡単に説明しなさい。

- ① 一足一刀の間合
基本の間合い。一步出れば相手を打突でき、一步退けば相手の打突を避けることができる距離。
- ② 近 間
一足一刀の間合いより近い間合い。自分の打突が容易にとどくかわりに、相手の打突も容易に届く距離。
- ③ 遠 間
一足一刀の間合いより遠い間合い。お互いの打突が打ち込んでも届かない距離。

<問題> 「三殺法」について説明しなさい。

- ① 竹刀を殺す。
乗る、なやす、払う、まくなどして相手の竹刀を殺し、有効に操作せないこと。
- ② 技を殺す。
相手の得意な技を出させないように機先を制して攻撃し、技を封じ込めてしまうこと。
- ③ 気を殺す
気力で相手を圧倒し、積極的に技をしかけて、相手の攻撃しようとする意志を失わせること。

<問題> 「五つの構え」を書きなさい。

- ① 中段の構え ② 上段の構え ③ 下段の構え ④ 八相の構え ⑤ 脇構え
(諸手右上段・諸手左上段)

<問題> 日本剣道形を修練するとどの様な効果があるのかを書きなさい。

- ① 立会およびその前後における作法・所作さらには刀の取扱いを体得できる。
- ② 正しい刀の操作（刃筋・手の内・しのぎの使い方・一拍子の打突など）や体さばきを体得できる。
- ③ 打太刀、仕太刀の関係を理解して、呼吸を合わせる大切さを知ることができる。
- ④ 正しい打ち間から機をはずさず正確に打突をすることを体得できる。
- ⑤ 目付け、呼吸法、残心などを含め、充実した気迫で行うことを体得できる。

<問題> 有効打突の条件をあげ、簡単に説明しなさい。

正しい姿勢で、元気よく、気合、竹刀、身体を一致させて、打突部位（面・小手・胴・突き）を竹刀の物打ち部、または剣先で正しく打突し、しかも残心（打突後の気構え・身構え）がしっかりととれていること。

<問題> 剣道試合において反則1回となる禁止行為を5つ書きなさい。

- ① 相手の足をかける、はらう。
- ② 相手を不当に場外に出す。
- ③ 試合中に場外に出る。
- ④ 自己の竹刀を落とす。
- ⑤ 不当な中止要請をする。
- ⑥ 相手に手をかける、または抱き込む。
- ⑦ 相手の竹刀をにぎる、または自分の竹刀の刃部をにぎる。
- ⑧ 相手の竹刀を抱える。
- ⑨ 相手の肩に故意に竹刀をかける。
- ⑩ 倒れたとき、相手の攻撃に対応することなく、うつぶせなどになる。
- ⑪ 故意に時間の空費をする。
- ⑫ 不当なつば競り合いおよび打突をする。